

自選二十句

亀が鳴く

茂原朱美

つんつんとアロエ花咲く初景色
初富士やマグマの上にどつしりと
奥の院へ冷たき手摺り頼りつつ
水の影映す川底春兆す
地球儀に遺る国名亀鳴けり
遠蛙たまに倒れるクレーン車
梯悟咲く並木見慣れて住み慣れて
朝顔や手水舎の龍ほそおもて
滝へあと少しのがれ場山の晴

雲の峰放浪といふ病ひあり
手を合はせ仏具の整理蟬時雨
一本から釘買へる店鳳仙花
夏の雲深く虚しく竜舌蘭
人に言ふほどでもないか涼新た
四股を踏む埴輪の力士豊の秋
同棲から始める暮し草紅葉
秋夕焼消防団員常時募集
カレー熱し蔵王は深き霧の中
コロナ禍の距離感残し秋深む
寒茜何を今更ボブ・デイラン